

平成24年度第2回経営戦略会議 会議結果の概要

開催日時	平成24年4月25日（水）午後3時～午後3時45分
開催場所	本庁 東庁舎4-2会議室
出席者	市長、副市長、総務部長、情報戦略局長、環境生活部長、健康福祉部長、産業観光部長、都市整備部長、教育部長、上下水道部長、病院事務部長
審議事項	
1	新市立伊勢総合病院建設地について <健康福祉部>

1 新市立伊勢総合病院建設地について<健康福祉部>

概要

新伊勢病院の建設地選定における基本的な考え方・プロセスについて、審議を行った。

○主な内容

1 <第1段階>建設候補エリアの抽出

【基本原則とすべき条件】

- (1) 自然災害の可能性の少ない場所である（対策ができる）こと
- (2) 公共交通機関の利便性が良い（開院までに整備ができる）こと
- (3) 自動車交通アクセスが整っている（開院までに整備ができる）こと
- (4) 救急車の運行が円滑に行えること

2 <第2段階>建設候補地の選定

【候補地の個別検討項目】

(1) 土地の状況

- ①法規制（都市計画・文化財等）
- ②敷地の広さ・形状・駐車場の十分な確保
- ③地権者数
- ④安全性（津波・洪水・土砂災害等自然災害）
- ⑤地盤の状況
- ⑥利便性（患者・医療従事者・市中心部からの距離）
- ⑦療養環境・近隣の状況
- ⑧周辺のインフラ整備状況

(2) 実現性

- ①土地の確保
- ②基盤整備（造成・周辺整備）
- ③周辺のインフラ整備
- ④建築工事
- ⑤建築計画の柔軟性、整備手法
- ⑥建設開始までのスピード

3 <第3段階>建設地の選定

【建築地選定の条件】

- (1) 建設用地確保の見込み
- (2) 経済性
- (3) まちづくりへの貢献
- (4) スケジュール（開院までのスピード）

結論

提出された案の方向で検討を進めることを決定した。

主な意見・補足等

- ・ 建設地の選定は、病院像が固まった状態でしたほうが、判断がしやすいのではないかと？
⇒本来は、病院機能を決定してからの選定となるべきであろうが、10月末に新病院の建設基本計画を策定予定であるため、平行して考えたい。計画策定において収支計画を策定する必要があり、建設地については、絞っておく必要がある。
- ・ 病院建設を医療の観点だけで考えず、人口交流の拠点としての性質を活かし、まちづくりの視点も併せて、考えることが大切である。また、病院が建設されることにより、周辺地域にどのような良い影響・悪い影響が発生するのかを把握しながら進めるべきである。

資料

付議事項書